

龍ヶ崎市
まちづくり市民アンケート
【調査報告書】

令和6年8月

龍ヶ崎市
総合政策部 企画課

目次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の方法	1
	(3) 回収状況	1
	(4) 報告書の見方について	2
2	調査結果	3
	I ご自身のことについて	3
	II 市全体の印象について	9
	III 龍ヶ崎市での暮らしについて	23
	IV 龍ヶ崎市のまちづくりについて	125
	V 個別の課題について	133
	VI 自由意見	171
3	まとめ	174
4	調査票	177

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本市では、2022年12月にまちづくりの基本方向を示す新たな最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」を策定し、「Creationとともに創るまち・龍ヶ崎」をまちづくりのキャッチフレーズに掲げ、皆さんとともに考え、協力・連携し、「対話」を意識した納得性の高いまちづくりを目指している。

本アンケート調査は、こうした考えに基づき、市民の皆さんのまちづくりに関する満足度や市が実施している施策・サービスに対する認知度・評価を把握することで、新たな取組や既存事業の見直しなどの参考とすることを目的に実施したものである。

(2) 調査の方法

- ① 調査地域：龍ヶ崎市全域
- ② 調査対象：18歳以上の市民 4,000人（抽出数）
- ③ 標本数：4,000票
- ④ 抽出方法：令和6年4月1日現在の住民基本台帳より性別、年齢別等により無作為に抽出
- ⑤ 回答方法：郵送・WEB
- ⑥ 調査期間：令和6年6月1日から令和6年6月21日まで

(3) 回収状況

配布数		回収数	回収率
3,979件		1,499件	37.7%
回収内訳	郵送	1,094件	27.5%
	WEB	405件	10.2%

※4,000件の発送を行ったが、21通が宛先不明等で返送されたため、回収率を算出する母数を3,979件とした。）

年齢別・居住地区別の回答状況

単位：人

	年齢	居住地区												無回答	総数	
		龍ヶ崎	馴染	八原	長戸	北文間	川原代	大宮	龍ヶ崎西	松葉	長山	馴染台	久保台			城ノ内
	18歳～19歳	8	1	2	0	0	1	0	2	2	2	3	2	0	0	23
	20歳～24歳	20	7	6	0	2	3	3	3	1	4	2	3	9	0	63
	25歳～29歳	32	8	8	0	1	5	3	4	1	5	2	3	7	1	80
	30歳～34歳	18	9	6	1	2	4	1	5	1	3	6	5	9	1	71
	35歳～39歳	25	11	7	0	2	5	2	6	6	6	6	5	3	0	84
	40歳～44歳	20	17	9	2	2	1	3	3	12	4	6	6	8	0	93
	45歳～49歳	23	16	21	2	7	5	3	2	4	12	8	5	14	1	123
	50歳～54歳	34	23	24	3	1	12	2	4	6	10	9	13	18	1	160
	55歳～59歳	18	21	21	2	1	10	5	2	8	9	5	27	16	0	145
	60歳～64歳	34	17	18	1	8	5	7	6	7	9	7	17	14	1	151
	65歳～69歳	32	11	15	4	8	10	8	6	14	16	6	11	6	1	148
	70歳以上	73	51	26	10	25	20	14	11	38	31	13	19	18	3	352
	無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6
	総数	337	192	164	25	59	81	51	54	100	111	73	116	122	14	1,499

(4) 報告書の見方について

- ① 集計結果を百分率(%)で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記としています。このため、百分率の合計が100にならない場合があります。
- ② 母数(n=●と表記)は、回答者全員が答えるべき設問については回答者数、条件付き設問については、その設問に答えるべき該当者の数としています。
- ③ 回答がない場合や、定められた以上の回答があった場合(一つ選択する設問で複数選択など)は「無回答」として集計しています。
- ④ グラフ等表示に際して、選択肢が多い場合や文言が長い場合は、選択肢の文言を簡略化している場合があります。
- ⑤ 属性別クロス集計「年齢別」「職業別」のグラフにおいて、2%以下の数値の表記を省略しています。
- ⑥ 設問の回答形式について、単一回答形式を「SA(Single Answer)」、複数回答形式を「MA(Multi Answer)」と省略して表記しています。
- ⑦ 過去調査と同様の設問・選択肢の場合、過去数回分(設問により2~5回)を遡り経年比較を行い、その結果をグラフにて掲載しております。
- ⑧ 経年比較を行っている設問において、構成比欄に「—」が記載されている場合、該当年度では記載の選択肢が存在せず、構成比が掲載されている年度から新設された選択肢を意味します。